

“地震”に備える!

大切な日頃の備え 10のポイント

- ① “部屋の危険”をチェック!
- ② 枕元にはスリッパ(くつ)を!
- ③ いつも身近にホイッスル!
- ④ “持ち出しアイテム”を準備!
- ⑤ 近所の人と顔見知りになろう!
- ⑥ 進んで人のために動こう!
- ⑦ テレビやラジオで情報を集めるくせを!
- ⑧ ハザードマップでチェック!
●自宅 ●学校 ●通学路 ●避難経路 ●危険箇所
- ⑨ 学校の避難訓練を、真剣に!
- ⑩ 地域の防災訓練に進んで参加しよう!



地域の“防災リーダー”をめざそう!

■STEP1 我が家の安全度をチェック!

- 我が家の耐震性 家具の固定 窓ガラスの飛散防止 照明や額などの落下防止

■STEP2 いざというときの“備蓄品”をチェック!

- 飲み水(最低3日分) 食べ物(最低3日分) マッチ・ライター 衣類・タオル
 携帯ラジオ 懐中電灯(予備電池も) 貴重品 救急セット
 薬 簡易ガスコンロ トイレットペーパー 雨具 など

■STEP3 家族の話し合いの中心になる!

避難場所・待ち合わせ場所	連絡先・学校への迎え	帰宅困難時の対応
<hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/>

■STEP4 『愛知県防災学習システム』でまちの“安全度”をチェック!

高校生として、まずは自分の命を自分で守ることが大切。そのうえで、家庭や地域を守る一員として、冷静に行動したいものである。そのためにも「地震とその被害」について学び、自分にできることは何かを考え、防災意識を高めておくことも「備え」の一つです。

〈ホームページURL〉 <http://www.quake-learning.pref.aichi.jp/>

キーワードを入力



■STEP5 地域の防災活動に積極的に参加しよう!

自分のまちのハザードマップをホームページからダウンロードしDIG(災害図上訓練)を実践しよう。次の場所をチェックし、地震が起きたときの対応について考えておこう。

- 自宅 ●学校 ●通学路 ●避難経路 ●避難場所
- 家屋倒壊・がけ崩れ・火災・液状化・津波などが起こりそうな危険な建物・場所

さらに、地域の防災活動に積極的に参加し、DIGで学んだことを生かそう。

